

働きやすい環境整備

特別養護老人ホーム真生園

厚労大臣奨励賞

厚生労働省の2024年度「介護職員の働きやすい職場環境づくり 厚生労働大臣表彰奨励賞」に、関市字沢の特別養護老人ホーム真生園が選ばれた。今年度は本県から唯一の受賞。同園は職員にとって働きやすい環境整備を進めることは利用者へのサービス向上にもつながるとして、引き続き各種制度の充実などに力を入れていく。

同園は、同市滝沢の社会福祉法人つくし会(熊谷茂理事長)が運営している。同会では、1995年から「社会福祉先進国」といわれるデンマークで研修を重ね、蓄積したノウハウを同園をはじめ運営する特別養護老人ホームなど計11施設に生かすことで、職員にとって働きやすい環境づくりを進めてきた。

主な取り組みとしては、3歳までの子どもを養育する職員に対して扶養手当とは別に支給する「子育て支援手当」、家族の介護を必要とする職員が年休とは別に休みを取得できる「介護休暇制度」、不妊治療を必要とする職員が一定期間休みを取得できる「不妊治療休暇制度」などを整備している。



阿部部長(右)から表彰状を受け取る熊谷理事長

同園で7日に行われた表彰状の伝達式には、県南広域振興局保健福祉環境部の阿部真治部長らが出席。阿部部長が施設長も務める熊谷理事長に表彰状を手渡した。

全国の介護現場で人材確保が課題となっていることを踏まえ、阿部部長は「社会全体で働き方改革を進める中、先進的な取り組みと言える。福祉の分野で模範となり、若者も夢を持って働ける場になっている。他の介護現場にも広がってほしい」と述べた。

熊谷理事長は「トップである自分が制度を作らなければ改革はできないと思い、取り組みを進めてきた」とした上で、「職員を大切にしなければ、利用者も大切にできない。余裕がある働き方は利用者にも還元されるので、法人としてもさらに環境整備を進めていきたい」と語った。

同表彰は、介護現場の人材育成と生産性向上への取り組みが優れた事業者を表彰することで好事例の普及を図ろうと23年度に創設された。今年度は全国の69事業者を表彰。県内での受賞は、同園が3事業者目となった。